右文尚武：「学業を尊び、部活動にも励む」

2025年（令和７年）11月19日

発行人：校長　仲宗根　勝
ＴＥＬ：098－860－5931
ＦＡＸ：098－860－3810

那覇国際高等学校

学校だより　第15号

香港生との交流会！

香港の高校（アメリカンスクール・ホンコン）から20名の生徒と引率の先生方が11月18日に本校に来校し、異文化交流会やランチ交流会、授業参加等を行いました。お互いの学校紹介や出し物（エイサー・空手・ダンス等）、自己紹介等を行い、交流を通して、お互いの文化や考え方について理解を深めるとともに、違いを尊重し、共通点を見つける機会となりました。

芸術鑑賞会　津軽三味線！

本年度の芸術鑑賞会（津軽三味線）が11月13日に実施されました。津軽三味線全国大会で優勝した阿部金三郎・銀三郎の兄弟による津軽三味線民族音楽ユニットの鑑賞を通して、普段聞く沖縄三線とは違った津軽三味線の音色を味わい、三味線が生まれた風土や文化の違いと繋がりを学ぶ機会となりました。

モンタナ州立大学　講師による講話！

モンタナ州立大学の講師による講話

過去にモンタナ州の研修に参加した生徒たちとの再会

モンタナ州立大学の講師による講話が11月14日に実施されました。「リーダーシップや成功するための習慣」、「若いうちに海外経験をすることの意義」等について、生徒たちに熱く語って頂きました。また、本県教育委員会の事業である「グローバルリーダー育成 アメリカ高等教育体験研修」に過去に参加した生徒たちと講師の先生との再会も実現しました。

MONTANA

今後の行事予定

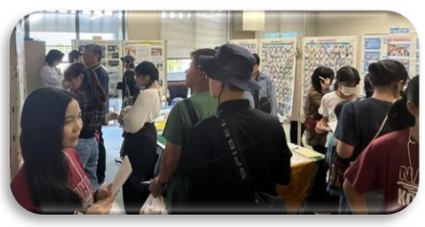
11　月
- 24日（月）　勤労感謝の日（振替休日）
- 26日（水）　期末考査1日目
- 27日（木）　期末考査2日目
- 28日（金）　期末考査3日目

12　月
- 5日（金）　3学期HR役員選出（1・2年）
  進路別学習直前説明会（3年）
- 6日（土）　数学検定
- 8日（月）　進路別学習開始（3年生）
  愛知県立豊橋南高校交流（2－9）
- 9日（火）　3学年集会
  2学年（総：国内研修について）
  1学年（総：テーマ発表会）
- 10日（水）　2学年集会

かるた部門大会優勝！

「第49回沖縄県高等学校総合文化祭　小倉百人一首かるた部門」が11月7日、県立武道館にて開催され、本校かるた部が見事、「優勝」を果たし、「第9回全九州高文祭小倉百人一首かるた部門（沖縄開催）」に県代表として派遣されます。おめでとうございます。

JICAフェスティバルに参加！



写真左：　玉城県知事とのショット

本校の生徒24人が、11月16日（日）に開催された「おきなわ国際協力・交流フェスティバル2025（JICAフェスティバル）」に出展し、日頃の学びを来場者の皆さまに発信しました。今回の出展では、国際理解教育の特別講座や、生徒自身が取り組んできた探究活動を分かりやすく紹介しました。展示づくりや説明を通して、生徒は「世界の課題を自分ごととして考える姿勢」を高めることができました。また、来場者の方々や他団体の方々と交流する中で、多様な考え方に触れ、学びの視野を大きく広げる機会となりました。

名　言・名　句

I did everything I could,
and I'm truly happy
we won the championship
with this team.

できることは全部できましたし、
このチームで優勝できて
本当にうれしく思います。

【解説】
これは2025年のメジャーリーグベースボール優勝決定戦のワールドシリーズでロサンゼルス・ドジャースの2年連続の優勝に貢献した山本由伸投手の優勝インタビューでの言葉である。山本投手はワールドシリーズで3勝0敗、防御率1・02の圧巻の数字を残し、MVPに輝きました。

合格体験記 14　（琉球大学 国際地域創造学部学部 国際地域創造学科 学校型推薦）

（1）この大学（学科）を選んだ理由

私は、将来、地方公務員として県庁の子ども未来部で勤務し、沖縄の貧しい家庭を取り巻く環境を改善し貧困による格差を小さくすることで、より多くの人々を幸福にしたいと考えています。私が中学生の時、コロナ禍のため休校で給食がなく困っている子どもたちに、通常よりも低価格で販売しているお弁当屋に社会科新聞作成の取材に行きました。そこには、様々な事情を抱える子どもたちが、私が想像していたよりも多く、利用していました。このことを契機に、私の知らないどこかでもっと苦しんでいる子どもたちがいると気付き、より多くの子どもたちのためにもっと沖縄の貧困の実態を深く理解したいと強く思いました。

（2）高校在学中の勉強方法について

【推薦対策】全部学校でやってました。【小論文対策】 3年生上半期に募集がある講座をとってました。((そこで志願理由書も添削してもらってました。先生方からも言っていただいてたのですが、大事なのは参考書よりも過去問です！私は過去問6年分1年分につき約3～4回程度の添削→書き直しを繰り返してました。また、小論文対策で1番大切だと思ったのは〈ネタ集め〉です。小論文は具体例が必要です。本番どのような題が出されるかは誰もわかりません、ですが、9割書き切らないといけません。そのためにこれがとても重要なのです。私は本(学校の)、インターネット、そして新聞を活用してました。新聞は学校の図書館前のやつです。10日間くらい通い、写真で撮り、家で記事をゆっくりちゃんと読みさらにネットでも調べて色々情報を足していくっていうことをやってました。その集めたネタを紙にまとめ、いつでも見れるようにしてました。あと学校必修小論文模試以外の模試は受けたことありませんでした。　【面接練習】 学校で試験前日までやりました。面接はどんだけ練習していても、本番はいくつかは用意していないことが聞かれます。その対策として、大学のHPにある単語など、細かいところまで徹底的に調べ上げることが大事です。先生も驚かせるくらい調べあげてください。

（3）後輩へのアドバイス

『定数ではなくて変数をうごかす』　この言葉は私のことを担当してくださっていた先生からのお言葉です。ここでいう定数は自分ではどうにもできないこと、例えば試験問題とかですね。変数は、自分ができることを指します。自分でどうにもできないところについて悩むのではなく、変数を最大値まで動かすよう、自分ができることを着実にやっていってください。そうすれば、後悔のない、落ちてもいいと思える、楽しんで試験に挑むことができると思います。個人差ありますが、一般試験の勉強と並行して推薦対策はやっていくと思います。推薦対策は、一般試験に直結しないことの方が多いですが、自分ができる最大限のこと、たくさんやって自信をつけてください。私は、試験前不安でしたが、今までやってきたこと、お世話になった人達を思い出し、乗り越えることができました。当たり前ですが、感謝の気持ち、絶対忘れてはいけません。みなさんの周りにいる人、全員あなたの合格を願ってます。そのために、たくさん動いてくれてます。みなさんのこと応援してます！

本校25期生（令和7年3月卒業）　女　性